秋の京都

若き志士たちの面影を訪ねて

ウォーキングマップ

)マル部分のチェックポイントを探せ!

チェックポイントを発見したら証拠写真を撮影しましょう!



制限時間までにゴールできそうにない場合や、途中リタイヤして お帰りになる場合は、必ず右記TEL番号へご連絡ください。

TEL:090-8816-2790 ^{運営:} Walkers-hi.com







チェックポイントの写真と同じアングルで証拠写真を撮影してください!

撮影した証拠写真は提出する必要はありません。今日の思い出にお持ち帰りください。





スタート【梅小路公園】

本日のミステリーウォーキングが、ここからスタートします。

幕末・新撰組ゆかりの場所を、地図を片手に訪ね歩いて みましょう!



【まぼろしの屯所】

新撰組の屯所が、壬生の八木邸、前川邸、西本願寺と隊員の人数にも伴って屯所は移り、京都に置いた最後の屯所がこのあたりにあったのがここの"不動堂村屯所"と言われる所です。

西本願寺に屯所がおかれた際に、境内で大砲を発砲する など大暴れしたり、血生臭い事件が相次いだりで、新撰 組を煙たく思った西本願寺は、寺が費用を全額負担する 形で、この地に移ってきたようです。



【第三屯所跡】

平成 15 年にリーガロイヤルホテル京都の一角に屯所跡の碑が建てられました。京都に置いた最後の屯所は、30人が一度に入れる大風呂場付きで大名屋敷と変わらない立派な屯所でした。

しかし、この立派な屯所もわずか半年間使用されただけ で伏見奉行所に移駐することになりました。



【油小路事件跡】

新撰組の参謀であった伊東甲子太郎は意見の相違から新撰 組から脱隊、近藤勇の妾宅で歓待された伊東甲子太郎は、 酩酊して帰営中、待ち伏せの新選組隊士数名に襲われまし た。

物陰から突然、槍で肩から喉を刺し貫かれたのです。 伊東は、瀕死の重傷を負いながらも、刀を抜いて応戦し、 一名を斬捨てると油小路通りへ逃れましたが、本光寺門前 の門派石(題目石塔)によりかかり絶命しました。



【天満屋事件跡】

土佐の坂本龍馬が暗殺されました。

龍馬が率いていた海援隊では、いろは丸事件を恨みに思った紀州藩が新選組を使って暗殺したものと断定しました。 海援隊は、復讐の的を紀州藩公用人の三浦久太郎に定め、 命をつけ狙います。

危険を感じた紀州藩は、新選組に警護を依頼しますが、こ こ天満屋にて襲撃にあいました。

不意を突かれて不利な形勢でしたが、新選組隊士のとっさの機転により「三浦討ち取ったり!」と偽りの声を上げ、 虎口を脱しています。

この事件で、三浦は軽傷を負っただけでしたが、襲撃側の中井庄五郎(十津川郷士)、新 選組の宮川信吉が命を落としました。



【西本願寺】

現在、世界遺産に登録されている西本願寺は、幕末北集 会所と太鼓楼を新撰組の屯所として使われていました。 西本願寺は、幕府と敵対する長州藩と深い縁があり、何 かにつけて長州藩士が西本願寺を頼りにしていました。 そこで新撰組が屯所を西本願寺にわざと移転したともい われています。空砲とはいえ、境内で大砲の練習や実弾

射撃をしていたので、僧侶や参拝者からはとても迷惑がられていたそうです。



【島原大門】

島原は、わが国最初の幕府公認の花街です。今では面影はほとんど残っていませんが、当時は祇園よりも高い格式を誇っていました。幕府の命により三筋町から朱雀野に急遽移転することになり、直前にあった九州島原の乱になぞらえて「島原」と名付けられたそうです。当時は新選組隊士がよく遊んでいました。新選組が結成されるまでは尊王派の志士もよく訪れた場所でしたが、新選組が闊歩するようになってからはあまり近づかなくなったそうです。



【輪違屋】

輪違屋は、京都市の文化財に指定されています。

揚屋と置屋を兼ね備えた現役の店で、日本で唯一「太夫」 が居る所です。太夫は「こったい」とも呼ばれ、正五位の 位を持ち十万石の大名に匹敵するとされるほど格が高く、 また教養も深かったことから、客の方が太夫の機嫌をとっ

たと言います。輪違屋の遊女は新選組隊士と関わりが深く、山南敬助と明里、平間重助 と糸里、伊東甲子太郎と花香太夫が馴染みの仲だったようです。

輪違屋は営業中の店であるため、内部は非公開です。ただし、客として訪れる事は可能です。



【角屋】

新撰組の芹沢鴨が、宴会をして帰宅をしたあと暗殺されたという場所です。

新撰組には大分困らされたようで、見廻りと称して上がり 込み、ツケが効かないとなると刀を振り回して大暴れし、 今でもその時の刀傷が残っています。

新撰組と敵対する西郷隆盛・久坂玄瑞などの勤皇志士たちが、軍用金調達のため時の豪商 を招いて会議を行った場所でもあります。



【島原西門跡】

中央卸売市場の目の前にあります。

当初は東の大門だけが島原の入口でしたが、享保 17(1732) 年に西門が設けられました。

島原遊郭は新選組が宴会を開く事も多く、壬生の屯所からはこの西門が近く、多くの隊士がくぐったと思われます。

当然、隊士と馴染みの遊女もいて、有名なのは近藤勇と深雪太夫、山南敬介の恋人であった天神の明里、永倉新八と後に結ばれる小常、土方歳三と東雲太夫等が馴染みの間柄だったといわれています。



【壬生寺】

新選組は文久 3 年 (1863) 3 月に、ここ壬生の地において結成されました。

境内は新選組の兵法調練場に使われ、武芸や大砲の訓練が行こなわれたそうです。

一番隊組長・沖田総司が境内で子供達を集めて遊んだり、

近藤勇をはじめ隊士が壬生狂言を観賞したり、新選組が相撲興行を壬生寺で企画し、寺の 放生池の魚やすっぽんを採って料理し、力士に振る舞ったという、逸話も壬生寺には残っ ています。



【八木屋敷】

八木邸は、新選組の最初の屯所が置かれた場所です。

当初は、芹沢鴨、近藤勇、土方歳三ら 13 名が宿泊していました。京都守護職御預となった彼らは、「壬生村浪士屯所」と書いた看板を八木邸の門に掲げ、居座り続けます。近藤勇の一派は早い時期に前川邸に移っていため、この頃ここに居たのは芹沢一派です。芹沢鴨は新選組における地位も

筆頭局長として近藤勇より上位に居ました。しかし粗暴な振る舞いが多く、会津藩の内意を受けた近藤勇達によって粛正される事になります。文久三年九月十八日の夜、角屋での会合の後、泥酔して眠っていた芹沢鴨達を刺客が襲います。当夜目撃した八木家の家人によると、刺客は土方歳三、沖田総司たちであったといわれています。



【新徳寺】

新徳寺は新選組の母 体となった浪士隊の本営が置かれた 場所です。

将軍警護のため組織された浪士隊が、江戸から中山道を経て京都へ到着します。その夜、浪士隊結成を幕府に献策した清河八郎が「浪士隊の主旨は将軍警護にはあらず、朝廷

の親兵となる事にある」と宣言します。幕府の部隊である筈の浪士隊を朝廷の兵力にすり変える際どい策略でした。驚いた幕府は江戸への帰還を命じますが、あくまで将軍の警護だと主張し京都に残留した一派があり、これが芹沢鴨、近藤勇達で、新選組が産声を上げた瞬間だったのです。



【前川屋敷】

八木邸から通りを挟んですぐ東隣にあります。

浪士隊と分かれ京都守護職御預となった後、芹沢鴨が強引 に屋敷を借りあげてしまったそうです。文久三年の芹沢鴨 暗殺後は、この屋敷が主たる屯所とされました。

山南啓介や野口健司が切腹した部屋、古高俊太郎を拷問に

掛けた地下室、近藤勇が落書きを残したとされる雨戸などが残っています。



【光縁寺】

光縁寺の門前近くには新撰組の馬小屋があり、毎日、門前 を隊士たちが往来していました。

中には新撰組副隊長の山南敬介もいて、山門の瓦には、山南家と同じ家紋があります。

当時の住職と年齢も似た山南と親交が生まれ、山南の紹介

で屯所で切腹した隊士達や山南自身、またその後の多くの隊士が良誉上人に弔われ、埋葬されることになりました。

(三人) 【京都御所(蛤御門)】

元治元年7月京都を追放されていた長州藩勢力が、会津藩主・京都守護職松平容保らの排除を目指して挙兵し、京都市中において市街戦を繰り広げました。「蛤御門の変」と呼ばれています。

この時に新選組が守備を担当したのが「蛤御門」だったのです。